



花き類・観葉植物

特長

- ◆ 重要害虫であるアザミウマ類に高い防除効果
- ◆ オオタバコガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類の同時防除が可能
- ◆ 様々な種類の花に使用可能

殺虫スペクトラム

■ 主な花き類・観葉植物害虫に対する殺虫活性(有効成分)

目	害虫名	殺虫活性	目	害虫名	殺虫活性
アザミウマ目	ミカンキイロアザミウマ	○	カメムシ目	オンシツコナジラミ	○
	ヒラズハナアザミウマ	○		タバココナジラミ	○
	ネギアザミウマ	○		アブラムシ類	×
チョウ目	オオタバコガ	○	ダニ目	ナミハダニ	×
ハエ目	マメハモグリバエ	○		チャノホコリダニ	×
	トマトハモグリバエ	○		カンザワハダニ	×
	ナモグリバエ	○		サビダニ類	×

○：日本植物防疫協会による圃場試験結果から実用濃度相当(47ppm)で実用的な防除効果が認められると推察されるもの。

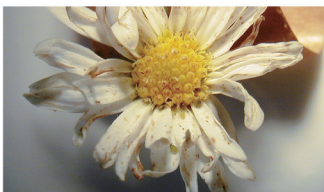
×：室内試験結果から実用濃度相当(47ppm)で実用的防除効果が認められないと推察されるもの。

—：データなし 参考：ディアナSC 2,500倍=47ppm

※○×表記は有効成分の殺虫活性の有無を示すものであり、実際の登録内容とは異なる場合があります。

適用害虫および被害

■ アザミウマ類



被害



成虫

■ オオタバコガ



被害



幼虫

■ ハスモンヨトウ



被害



幼虫

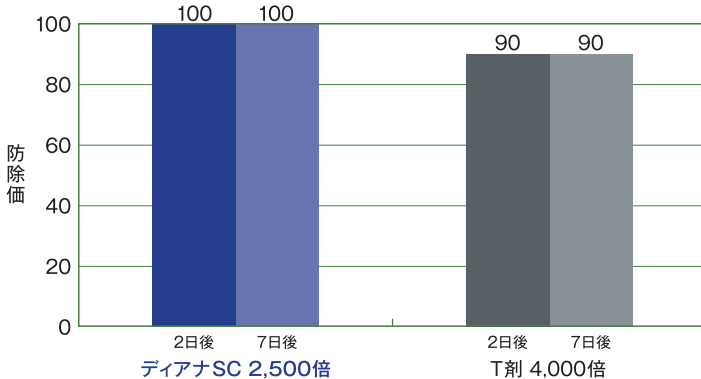
※写真はミカンキイロアザミウマ



花き類・観葉植物

ネギアザミウマ(圃場試験)

防除効果

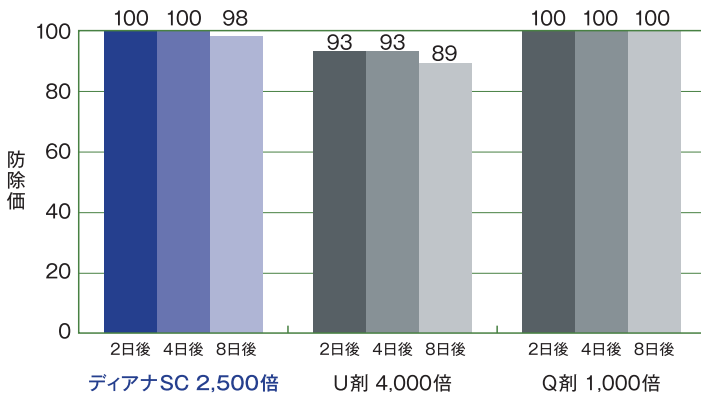


実施年:2009年
 試験場所:神奈川県農業技術センター
 供試作物:きく(品種:ななみ)
 区制・反復:1区(10株)・3反復
 散布日:7月7日
 散布方法:ブレッシャー式噴霧器(800ml/30株)
 調査日:7月9日、14日
 調査方法:1区(10株)全葉に寄生する成・幼虫数を調査。

対照薬剤に対して優れた効果であり、実用性は高い。

オオタバコガ(圃場試験)

防除効果

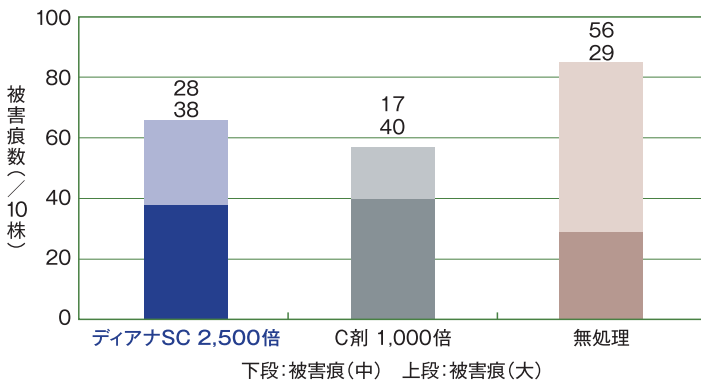


実施年:2008年
 試験場所:日本植物防疫協会研究所 高知試験場
 供試作物:きく(品種:アイビスサニー)
 区制・反復:1区 3.0㎡(20株)・2反復
 散布日:6月18日
 散布方法:肩掛式動力噴霧器(十分量/10a)
 調査日:6月20日、22日、26日
 調査方法:1区(20株)に寄生する幼虫数を調査。

対照薬剤とほぼ同等の効果であり、実用性は高い。

トマトハモグリバエ(圃場試験)

防除効果



実施年:2010年
 試験場所:日本植物防疫協会研究所 宮崎試験場
 供試作物:ガーベラ(品種:マイクロライングリーンアイ)
 区制・反復:1区 2.25㎡(10株)・3反復
 散布日:5月21日
 散布方法:背負式全自動噴霧器(296l/10a)
 調査日:5月27日、31日
 調査方法:1区(10株)につき、被害痕数を大、中に分けて調査。

対照薬剤とほぼ同等の効果であり、実用性は高い。

被害痕判定基準:大(蛹化脱出後) 中(3cm以上~蛹化脱出前)